



TITLE:

現代支那名家著作目録(二) 陳寅恪

AUTHOR(S):

小野川, 秀美

CITATION:

小野川, 秀美. 現代支那名家著作目録(二) 陳寅恪. 東洋史研究 1936, 2(2): 178-179

ISSUE DATE:

1936-12-15

URL:

<https://doi.org/10.14989/145576>

RIGHT:

現代支那名家著作目錄

(二)

陳寅恪

江西修水の人。英佛等の諸國に留學す。現に北平國立清華大學中國文學系教授にして兼ねて中國史を教授す。國立中央研究院歷史語言研究所兼任研究員兼第一組主任たり。年四十四。

大乘稻芋經隨聽疏跋 國學論叢一、二(十六、九) 卷號民國年月

有相夫人生夫因緣曲跋 同 右

章受喻覽論梵文殘本跋 清華學報四、二(十六、十二)

王觀堂先生挽詞(并序) 國學論叢一、三(十七、四)

須達起精舍因緣曲跋 國學論叢一、四(十七、十)

(東洋學叢編) (昭和九、五)

元代漢人譯名考 國學論叢二、一(十八、八)

大乘義章書後 中央研究院歷史語言研究所集刊一、二(十九、)

靈州寧夏榆林三城譯名考 同 右

(蒙古源流研究之一)

吐蕃彝泰贊普名號年代攷 中央研究院歷史語言研究所集刊二、一(十九、五)

(蒙古源流研究之二)

敦煌本維摩詰經文殊師利問疾品演義跋 同 右

三國志曹冲華陀傳與印度故事 清華學報六、一(十九、六)

西遊記玄奘弟子故事之演變 中央研究院歷史語言研究所集刊二、二(十九、八)

燉煌本唐梵翻對字音般若波羅密多心經跋 國學論叢二、二(十九、十二)

幾何原本滿文譯本跋 中央研究院歷史語言研究所集刊二、三(二十、四)

彭所知論與蒙古源流 同 右

(蒙古源流研究之三)

蒙古源流作者世系攷 同 右

(蒙古源流研究之四)

李唐氏族之推測 中央研究院歷史語言研究所集刊三、一(三十、)

蓮花色尼出家目錄跋 清華學報七、一(三十一、一)

來紐明紐古復輔音通轉考 同 右

俞曲園先生病中嚙語跋 國語論叢三十七、二(三十一、三)

高鴻中明清和議條陳殘本跋 國語論叢三十七、八

(三十一、四)

禪宗六祖傳法偈之分析 清華學報七、二(三十一、六)

南嶽大師立誓願文跋 中央研究院歷史語言研究所集刊三、三(三十一、十)

支愍度學說考

慶祝蔡元培先生六十五歲論文集上冊

(三十二、一)

天師道與濱海地域之關係

中央研究院歷史語言研究所集刊

三、四

李唐氏族之推測後記

同 右

(三十二、)

讀連昌宮詞質疑

清 華 學 報 八、二 (二十二、六)

四聲三問

清 華 學 報 九、二 (二十三、四)

李太氏族之疑問

清 華 學 報 十、一 (二十四、一)

元微之遺悲懷詩之原題及其次序

清華學報十、三

(二十四、七)

元白詩中俸料錢問題

清 華 學 報 十、四 (二十四、十)

武曌與佛教

中央研究院歷史語言研究所集刊 五、二 (二十四、三)

李德裕貶死年月及歸葬傳說考辨

同 右

三論李唐氏族問題

同 右

桃花源記旁註

清 華 學 報 十一、一 (二十五、一)

讀秦婦吟

清 華 學 報 十一、四 (二十五、十)

〔附記〕此處に載録した論文は閱覽の便ある諸雜誌に限られてゐるので、或は未知の雜誌に發表された論文があるかも知れない。

(小野川秀美)

北京路都元師府印の出土

在奉天の會員山本守氏より、濱江省綏化縣第六區古城出土の「北京路都元師府印」の印譜を送つて來た。縦横三寸七分、甚だ立派なものである。左に寫眞を掲げる。背面には右側に「北京路都元師府印」左側に「巳卯年七月 日鑄」とある。

